

北海道作業療法士会 自助具コンテスト 応募作品の概要

*A4 用紙 3 枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

| | |
|----------|--|
| 作品の名称 | <p>※20 文字以内で記入</p> <p>しるしっぺ</p> |
| 対象者の領域 | <p>※該当する項目()に○を入れる。</p> <p>身体障害 (○)、精神障害 ()、発達障害 ()、高齢者 ()、 その他 ()</p> |
| 自助具の分類 | <p>※該当する項目()に○を入れる。</p> <p>食事動作 ()、整容動作 ()、更衣動作 ()、排泄動作 ()、入浴動作 ()、 コミュニケーション ()、趣味・余暇活動 () その他(移動動作、住宅改善)</p> |
| 用具の種類 | <p>※該当する項目()に○を入れる。</p> <p>工夫・改良品 (○)、個別製作品 ()</p> <p>※ 工夫・改良品市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、個別製作品アイデアから個別に製作したオリジナルな物、とする</p> |
| 応募作品の概要 | <p>※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。</p> <p>実習での見学の中で、脳性麻痺による左半側空間無視の症状を持つ方と関わる機会があった。その方は、その症状に加え両眼視の視力の低下が見られた。</p> <p>そのような症状を抱えながら、自宅で独居をしているという状況である。</p> <p>移動動作では、左側に注意が向きにくいいため壁や家具にぶつかってしまう場面があった。</p> <p>また、視力低下による物の判別が難しい（例：スプーンとフォークの判別）場面も見受けられる。</p> <p>このような症例から、視覚に障害を抱えながらも自宅で生活がしやすいように、家具や日用用具にシールを張る自助具を考案する。</p> |
| 工夫したポイント | <p>家屋を基盤とした自助具のため、対象者の QOL 向上を意識した。</p> <p>QOL 向上のポイントとして、対象者の好みや趣味思考に寄り添った見た目のシールを使用し、個別性の高い自助具になるように工夫を行う。</p> <p>触覚で物を判別できるように、シールの材質や凹凸を利用する。</p> |
| 利用上の留意点 | <p>※使用上の注意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。</p> <p>家屋に直接シールを貼る必要があるため、場所によっては貼れない場合がある。</p> <p>1 度貼ると、剥がしにくい（再利用しにくい）</p> |

| | |
|--|--|
| <p>作 製 の 準 備</p> | <p>※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。 材質の異なるシール 複数種 100円×複数 必要種類によって変動する</p> |
| <p>応 募 作 品 の 特 徴</p> | <p>※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。 ※画像は最大10枚とし、自働具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。</p> <p>1. 作品の外観</p> <p>①キラキラしたシール ②星形のシール ③おはじきシール ④カラーテープ</p> <p>2. 作り方・製作過程</p> <p>(1) 自分の好みのシールを複数種用意する (2) 判別したい日用品に、形状や材質の異なるシールを貼る。 認識しにくい場所や、視覚的に見にくい場所に目立つシールや凹凸のあるシールを貼る。</p> |

3. 活用場面

★物品判別 (スプーンとフォーク)



★物品判別 (洗面用具)



★家屋補助 (段差強調)



<写真の使用に関して> ※該当する項目()に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている ()、対象者に同意を得ていない ()、該当せず (○)

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。